

幹復生芽蘖又多田金山有連理松。一根雌雄交生山谷詩集卷九有戲答陳季常寄黃州山中連理松枝詩又有眠松。出伏見枝葉垂下可愛又有杜松。倭名室之木。經久枝々下垂掘根陰乾夏夕焚炳以避蚊蚋豹脚又有金松。其葉帶黃故倭名金松與天台山外志所出金松名同物異漢所謂金松今和稱高野真木者是也。

〔古今要覽稿 草木〕くろ松 雄松

黒松  
赤松  
白松

くろ松は皮の色くろみあり故にくろまつと云西土にも黒松といふありこれなるべし本草綱目啓蒙これ貝原篤信のいはゆる雄松なり大和本草これを雄松といふは葉粗く太くして松蘗生せざればなるべし。

あか松 雌松

あか松は皮のいろあかし故にあか松といふ西土にて赤松といふも是なるべし本草綱目啓蒙葉細くして美なりまたよく松蘗を生ず故に雌松なりと貝原篤信いへり。

まろ松

まろ松も雄松の一種なりたゞそのみどり白色にして粉あるがごとし世に霜降松といふものとおなじからず上野國勢多郡赤城山その外足尾山などにあるもの長たかく幹ふとくして霜降松の類にあらず武藏國大宮原などにも見へたり是西土にて白松といふもの華夷鳥獸草木珍玩考ならん。

〔甲斐國志 百二十三 産物及製造〕一松 所在異ナルナシ白穂赤穂二種アリ雌雄ト稱ス然ドモ赤白ノ内各又雌雄ヲ分ツ白穂ハ海風ノ不及處ニハ生ゼズ本州八代郡ノ南山及河内領ニ在ルノ雄白穂ハ一歳ニ穂長三四尺以上ニ及テ成長最早シ赤穂ハ晩シ九一色八阪ノ松ハ板ニシテ佳ナリ

七葉松

〔古今要覽稿 草木〕七葉松